



2011年度一橋大学政策フォーラム

EU Studies Institute in Tokyo

福島原発事故への対応と これからの原子力安全

～日本と欧州の視点からみて～

●開会の辞

人類の重要なテーマを議論

一橋大学長
山内 進氏



東日本大震災により、安全といわれていた原子力発電所に事故が起こり、災害規模の大きさとその計り知れない危険性に、皆が恐れおののいて

知識を共有し安全基準構築

駐日EU大使
ハンス・デイト
マル・シユヴァ
イスグート氏



福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故の教訓から 日本と欧州で知生み出す

●第1部 日本の視点から

報告 I 「日本の原子力行政の課題
～技術者の見地から～」



過酷事故対策などの改革を

東京大学工学系研究科
原子力国際専攻客員教授
西脇由弘氏

福島第1事故について、法や制度の6つの課題について申し上げたい。

第1の課題は過酷事故対策であるアクションプラン・マネジメントが、民間の自主的措置であった点である。原子炉等規制法を改正し、過酷事故を法規制の対象として防止することが必要だ。

精神的損害が賠償対象に

一橋大学大学院国際・公共政策大学院院長
高橋 滋氏



では、「原子力基本法」という基本法律があり、原子炉の稼働について規制する「原子炉等規制法」、事故が起きた

●星講演

国民から信頼される新しい 原子力安全規制に関する組織及び制度の改革

原子力安全庁(仮称)を設置

内閣府大臣政務官
園田康博氏



東日本大震災は、東京電力福島第1原子力発電所の機能を破壊し、わが国で初めて放射性物質を大量に放出する事故を引き起こした。その結果、多くの人々の暮らしとコミュニ

EUにおける原発の原子炉143基すべてのストレステストの実施を発表された。

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

EUにおける原発の原子炉143基すべてのストレステストの実施を発表された。

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

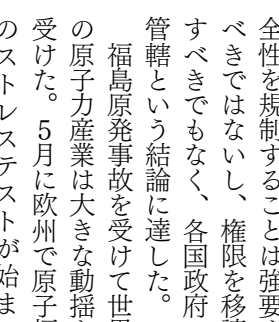
福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

福島原発事故以降、原子力の安全性が国際的にも喫緊の課題となっている。福島原発事故は原子力の安全性のみならず、産業施設の設置に関する脆弱性にも注目を集めることとなり、世界が産業施設の安全性についての考え方を直す契機となった。欧州では

●第2部 欧州の視点から

規制権限拡大の可能性浮上

弁護士・
コンサルタント
クリスチヤン・
レエチユケ氏



EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

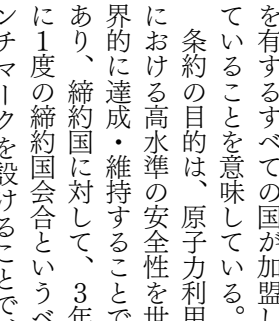
EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

EU27カ国のうち14の加盟国で現在、143の原子力発電所が稼働している。EU全体では28%が原子力発電に依存している。原子力をエネルギーミックスに加えるのは、加盟国次第である。EUレベルでは、それに対する権限はない。

●開会の辞

Safety & Security 併せ考察

一橋大学大学院
法学研究科准教授
秋山信将氏



福島原発事故で精査されなければならないのは、想定外というフレーズである。事故は本当に想定外であったのか、残余リスクへの対処はなぜできなかったのか、これらの面からの検証を厳しくしていく必要がある。

福島原発事故はインテリジェントな世界が初めてオントタイムで原子力災害を体験することとなった。原発事故は世界の人々に心理的に大きなインパクトを与え、原子力の安全性に加えて、グローバルな環境への影響を意識させた。

他方、原発事故が起きたにもかかわらず、多くの国が引き続き原子力導入の意欲を持っている。

最近、日中韓の間で原子力安全協力イニシアチブが合意された。今後、透明性や安全性を高めるためには、こうした地域協力を強化していく必要がある。各国の特殊性を考慮したような国別の規制で十分だという考え方は、グローバル化の現実を無視している。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。

原発に伴う3つの「Safety」「Security」「Safeguards」はそれぞれ異なる概念だ。チェルノブイリは「Safety」の問題だったと思うが、福島原発事故は「Security」と「Safety」と「Safeguards」の問題を併せて考察していく必要がある。